

様式第4号(第5条関係)

令和 2 年 3 月 17 日

菊池市議会議長

柁原 賢一 様

議員名 福島 英徳



平成31年度政務活動費収支報告書

菊池市議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定に基づき、次のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入

政務活動費 240,000 円

2 支出

(単位 円)

項目	金額	備考
会議研修費		
調査研究費		
資料作成費		
資料購入費		
広報費	247,281	個人広報の印刷および発送代
広聴費		
人件費		
事務所費		
要請・陳情活動費		
合計	247,281	

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残額

0 円(支出が収入を上回る場合は0を記入)



1,800部

領収証 福島 英徳 様 No. _____

金額

¥78,791-

但 DM作業代として
2019年 5月 7日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

北区浮間4-15-3
シャトランサイト-101



(有)エムケイプランニング

コクヨ ウケ-695

2,000部

領収証 福島 英徳 様 No. _____

金額

¥84,656-

但 DM作業代として
2019年 10月 29日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

北区浮間4-15-3
シャトランサイト-101



(有)エムケイプランニング

コクヨ ウケ-695

2,000部

領収証 福島 英徳 様 No. _____

金額

¥88,834-

但
2020年 1月 27日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

北区浮間4-15-3
シャトランサイト-101



(有)エムケイプランニング

コクヨ ウケ-695



市政 活動通信

菊池市政に民間企業での経験を！

意思決定・政策のチェックの場に
培った視点を活かします

平成31年3月議会 vol.4
Kikuchi city council member Report

福島ひでのり

平成最後となった3月議会が終わり、次の6月議会は新元号“令和”元年での開催となります。

我々議会も新たな気持ちで**議会改革**を進めるとともに、菊池市の発展のため、議会においては何事にも臆することなく「是を是として認め、非を非として反対し、公平な立場」を貫いてまいります。

この市政活動通信も今回で4回目の発行となりました。

発行後には、ありがたいことに皆さまから電話やはがきやお手紙をたくさん頂戴しております。

皆さまからいただいた貴重なご意見は、一般質問等にも活用させていただいております。



Profile

- 1961年 7月 菊池市七城町高田生まれ (57歳)
- 1979年 3月 七城小学校・中学校を経て、鹿本高校卒業
- 1986年 4月 日本電子材料株式会社入社
- 2009年 10月 慶応義塾大学経済学部入学
- 2012年 4月 日本電子材料株式会社韓国法人(同和 JEM) 代表理事副社長
- 2018年 3月 日本電子材料株式会社退社
- 2018年 5月 菊池市議会一般選挙に出馬し、初当選 (1期目)

あれはどうなってる??

昨年12月議会で骨髄移植ドナー登録のための啓発活動として菊池市でも助成制度への取り組みを提案しました。

今年2月に、水泳の池江璃花子選手が白血病を告白されたことで、全国規模でドナー登録者が急増しているとのこともあり、3月議会で菊池市の現状と助成制度の取り組みについて執行部に尋ねましたが、残念ながらドナー登録者数の増減すら把握されていなく、市独自の助成も行わないとのことでした。

国からの指示待ち体質で、自らが行動する意識の希薄さを感じています。

※今回から e-mail アドレスも掲載しますので、より多くのご意見をお待ちしています。
e-mail : kenfuku2001@yahoo.co.jp

連絡先

〒861-1357 熊本県菊池市七城町高田 640-1
TEL : 0968-24-3087 090-9076-1245 (携帯)
発行者：菊池市議会議員 福島 英徳

市民の声を市政に活かす 一般質問

議員個人が、市政について疑問点をたずね提案し、改めたいこと・実現したいことに関する報告や説明を求め、市長や部長等が答弁します。答弁内容から、執行部が適切な市政運営を進めているかを議員がチェックするものです。

50%以上を占める森林に対する本市の取組みについて

福島：平成30年3月現在、本市における林野面積は、15,176ヘクタールで率にして54.8%です。そのうち民有林が83%です。（国有林は2,569haで17%、市有林は1,196haで8%、私有林は11,411haで75%）本市の54.8%を占める森林、国有林を除くと45.5%の民有林をどのように活かすか？まずは本市が森林整備を進めるにあたり課題も多いと思われる。今抱えている課題とその課題への対策案をお示しください。

経済部長：近年、木材需要・価格の長期低迷等により森林所有者の森林に対する意欲が薄れ、枝打ち・間伐等の森林施業が十分なされておらず、また森林所有者の所在もわからない森林も増えており、森林の持つ災害防止や*水源涵(かん)養など公益機能の発揮が危ぶまれ、林業の持続性も懸念されています。

相続等により森林を所有しても所有林の場所や隣接する山林との境界が不明瞭となっている場合もあり、森林整備がなかなか進まないという問題もあります。

平成31年度に創設が予定されております森林環境譲与税(仮称)を活用して、森林整備に取り組んでいきたいと考えております。

福島：一昨年末に*森林環境税および*森林環境譲与税(仮称)の創設が決まりました。森林環境譲与税は、平成31年度から自治体への譲与(配分)が開始されます。

本市には森林環境譲与税が、平成31年度から3年間固定で1,800万円が配分されるとのことですが、その活用方法をお聞かせください。3年間同様の活用法であれば単年度ごとの説明は不要です。

経済部長：森林整備等に必要となる森林所有者の行方調査、意向調査および林地台帳の整備を予定しておりますが、具体的な用途については今後の状況を見て

考えたいと思っています。

福島：先般、市民の方が保有されている山を見に行きました。30ヘクタールほどの面積でしたが山中を軽トラックで走れるほど管理されていました。杉やヒノキの間伐もきちんと行われていて、光は地面まで届いて明るく、モデル化したいほど立派なものでした。一方、竜門から八方ヶ岳一帯の森林の状況も見ましたが、ほとんどの森林は間伐や枝打ちが行き届いてなく、木の発育は悪く枝が張って光も通さずツルは巻き付き荒地といった感じでした。

昨年の7月には西日本豪雨災害がありました。線状降水帯の発生場所によっては、本市への影響も十分にあり得たと思います。とても対岸の火事とは思えません。市長の施政方針にもあったように災害に強いまちづくりを進めるためにも、このような土砂災害未然に防ぐ対策が必要ではないでしょうか。

森林整備の課題と対策や森林譲与税の活用法においては外部委託になると思いますが、今後林野部門においては少なくとも市職員の負担が増えると考えられます。そのような状況に対して、現在の所管である農林整備課の増員もしくは、課を新設する等の対処が必要だと考えますが、市長の考えをお聞かせください。

市長：森林整備に関する今後の対応策ということですが、そここのところにつきましては十分に配慮していきたいと考えています。

また菊池にとって林業は、皆さまに未来を感じていただけるように支援していきたいと考えております。

福島：災害を未然に防ぐための取組みは急務です。市民が森林と触れ合い、楽しむ機会ができる環境づくりも大事ではないでしょうか。間接的にも人的災害が発生しない、災害に強いまちづくりの実現に向けた取組みを本気でお願ひします。

図書館のあり方について

福島：知的欲求を満たす市民サービスであり、社会的福利厚生施設である図書館のあり方について質問します。

平成31年度の当初予算での図書館費は、1億5,429万となっています。

この予算は中央図書館および、泗水・七城・旭志各図書館の総予算だとお聞きしていますが、大半は中央図書館に使われると思います。その中央図書館や学習センターが、泗水や七城そして旭志の市民（特に子供や高齢者）にどのようなサービスを提供されているのか、考えをお聞かせください。

教育部長：中央図書館を本館、泗水・七城・旭志を分館として直営でサービスを行っています。また、生涯学習の拠点として地域公民館と連携しながら、生涯学習に力を入れております。

各分館は、地域の方々に親しみある図書館としてのサービスに重点をおいており、小中学校や保育園も近いことから、子育て支援サービスも業務と捉え一人でも多くの方に立ち寄ってもらえる分館を目指しております。

その他、週に2回は各分館を配送車で巡回し、地域の図書館でも好きな本を受け取れるシステムを構築しサービス向上に努めています。

福島：平成30年1月から12月までの来館者数は、20万9,793人です。中央図書館が70.6%、泗水図書館が23.6%で全体の94%を占めています。

このような状況からも、図書館の機能やあり方について見直すことも必要かと思いますが、考えをお聞かせください。

教育部長：現在図書館では、蔵書の充実に向けて取り組んでおりますが、その他に平成30年12月から電子書籍を導入しました。

仕事の都合等で図書館の閉館や休館時でもタブレットやパソコンなどで利用できるということで、今後市民の方々への周知をはかり多くの方に利用していただけるように進めてまいります。

オープン以来5つの*データベースを導入し、高校生向けや一般ビジネス向けに行っておりますが、利用頻度が少ないということで、31年度に向け更に市民への周知と利用講座の拡大を行う予定です。

これまでは子供向けのイベントを数多く行ってきましたが、今後は高齢者向けに脳トレ講座等、多種多様の催しを行い、より利用者目線のサービスに努めてまいりたいと思っています。

また歴史や文化など、地域の記憶をデータ化する取り組みを行うとともに、更なる利用者拡充に向けて図書館機能の強化はもとより、小中学校・幼稚園・保育園や市内三つの高校とも連携しながら、知識・情報・交流の拠点として多くの人が出会いを楽しめるように利用者の満足に努めてまいります。

福島：立派な箱モノを造ったとしても、運営をきちんとして利用価値を高めなければ、単なる自己満足にすぎないと思います。

そのために何億もの税金をつぎ込むことこそ、無駄遣いの何物でもないと考えます。

最後になりますが、問題視されている閲覧用椅子に関して提案させていただきます。

12月議会で荒木議員からの一般質問に対して、執行部からは「世界トップの匠の技を体感してもらいたい」といった趣旨の答弁をされています。

人間とは価格を知って初めて、その物の価値を知るものです。正月のテレビ番組で「芸能人格付けチェック」と題して、さまざまなものを格付けしています。有名芸能人でも、3,000万円のワインと500万円のワインの判別ができないのです。また、宝塚トップスターが3億円のヴァイオリンと2,000万円のヴァイオリンが判別できないのです。

執行部から前出の答弁をされるからには、効果的に活かす必要があります。来館された方が一目でわかるように「世界トップの匠の技を体感してもらいたい」という趣旨で、対象の椅子の背もたれの裏面でもかまいません。「世界トップの匠の技 一脚10万円の椅子」とプレート等で明示されることを、声を大にして提案いたしまして、私の一般質問を終わります。

*水源涵養林

☞雨水を吸収して水源を保ち、あわせて河川の流量を調節するための森林。

*森林環境税（仮称）

☞国民から税金をいただくこと。（収入）

*森林環境譲与税（仮称）

☞森林環境税を森林の整備等に使うこと。（配分）

*データベース

☞集めたデータを、あとから検索しやすいように分類、蓄積したもの。



平成 31 年 3 月定例会 市議会のできごと

平成 31 年第 1 回菊池市議会定例会は、2 月 25 日から 3 月 22 日まで 26 日間開催されました。

今回の議会は特に新年度の予算を審議する重要な議会でもあります。加えて平成 30 年度の補正予算についても審議されました。

平成 31 年（2019 年）度の一般会計予算は、283 億 8,700 万円で、前年度の 292 億 9,800 万円に対して 9 億 1,100 万円の減額となりました。

平成 30 年（2018 年）度の一般会計補正予算は、301 億 7,500 万円まで膨れ上がった予算が、14 億 5,400 万円ほど補正（減額）され、287 億 2,100 万円になりました。

前年度の当初予算と比較すれば 3.1% ほどの減額です。

議案第 6 号（市長等特別職の給与・旅費の条例改正）について、「市長や議員等の特別職の値上げである。市民の暮らしが厳しい中で、特別職の給与等の値上げは行うべきではない」との反対討論がありました。私は「一般職の職員の給与値上げには賛成ですが、人事院勧告だからといって特別職の給与等を即時に値上げするのではなく、議会改革など、やるべきことを行ってからでも遅くない」との考えから反対しましたが、賛成多数で可決されました。

議案第 26 号の花房坂周辺公園整備事業 889 万円において、見晴らしがいい高台ではなく中途半端なところに造る計画になっているばかりか、この予算は維持管理費については検討中で、正確にはまだ出していないとの意見がありました。公園のみならず何かを造れば維持管理費は発生しますが、市が試算もしていない段階で予算化するのには納得がいかず質疑しました。結果は予備費として計上する修正案が可決されました。

同じく議案第 26 号において、九州のお米食味コンクールを菊池市で 2 回（平成 29 年、30 年）開催され、平成 31 年からは持ち回り開催とのことでした。ところが、平成 31 年にも予算が計上されていたことで、「一般質問の答弁と施政方針が食い違う」や「関心を示している自治体に開催してもらおうよう努力しているのか見えてこない」等の意見

がありました。私は昨年、菊池食味コンクールと九州食味コンクールの開催（2 日間）に参加しました。生産者の方々の励みになることは喜ばしく思います。開催の趣旨にもよりますが、消費者参加型や JA 菊池等とのコラボレーションなど仕組みを見直せば、もっと盛り上がることでしょう。私は市職員等の負担を考えると、菊池食味コンクールにもっと集中して、九州食味コンクールは持ち回りの開催が望ましいと考えます。



百条委員会の設置（案） を再度否決！

荒木崇之議員から、昨年 12 月に続いて「一般質問での答弁と公文書の内容が食い違っている。」などの理由で、百条委員会の設置を提案されました。新聞にも掲載され、市民にも関心が広がっているこの問題について、執行部はもちろんのこと議会もチェック機関の立場から事実をはっきりさせる必要があると思います。税金で購入した物品に対して、真相をはっきりさせるための調査を行うのは当然の行為と考え賛成しましたが、賛成 4 反対 15 で再度否決となりました。

「菊池市中央図書館に納入予定だった海外製椅子 32 脚が入札後、より高額な椅子に契約変更された問題で、市議会は 22 日、再度提出された地方自治法に基づく調査特別委員会（百条委員会）の設置決議案を賛成少数で否決した」

出典 平成 31 年 3 月 23 日 熊本日日新聞 朝刊

政務活動費収支報告

政務活動費とは地方自治法に基づき、地方議員の調査研究やその他の活動に役だてる経費の一部として、自治体から議会における議員に対し公費として支給される費用です。

平成 24 年（2012 年）の地方自治法改正により、それまでの政務調査費から名称が変更され、用途が拡大されました。先般の熊日新聞に、ある熊本市議の政務活動費の用途について掲載されていましたが、税金で支給されていることを認識されているのか？甚だ疑問です。

菊池市では、月額 2 万円が支給され年間 24 万円です。（私には 6 月からのため 20 万円が支給されました）

①調査研究費（公開請求コピー代）	380 円
②資料購入費（議会運営、議員必携等）	28,424 円
②広報費（市政活動通信作成代）	215,724 円
合計	244,528 円



市政

菊池市政に民間企業での経験を!

意思決定・政策のチェックの場に
培った視点を活かします

活動通信

令和元年 9 月議会 vol.5
Kikuchi city council member Report

福島ひでのり

7月13日の熊日新聞において、福島ひでのりが、椅子入札問題の100条委員会設置の提案をおこなったことで、反市長派との表現で掲載されましたが、私は市長派とか反市長派といったくくりではなく、二元代表制である議会の議員として、市民のみなさまの声を市政に反映させる”市民派”だと自負しております。

「是を是として認め、非を非として反対し、公平的な立場」を貫き議員活動をすることで菊池市の発展と活性化を目指してまいります。



Profile

- 1961年 7月 菊池市七城町高田生まれ (58歳)
- 1979年 3月 七城小学校・中学校を経て、鹿本高校卒業
- 1986年 4月 日本電子材料株式会社入社
- 2009年 10月 慶応義塾大学経済学部入学
- 2012年 4月 日本電子材料株式会社韓国法人(同和 JEM) 代表理事副社長
- 2018年 3月 日本電子材料株式会社退社
- 2018年 5月 菊池市議会一般選挙に出馬し、初当選 (1期目)

お知らせ

議会報告会が2地区で行われます。

11月18日(月)
*会場: 泗水公民館
*一般報告会
*開始時間: 19:00 ~

11月21日(木)
*会場: 菊池文化会館
*各団体との意見交換会
*開始時間: 19:00 ~

人 福島ひでのり
LINE@
目安箱



連絡先
〒861-1357 熊本県菊池市七城町高田 640-1
TEL: 090-9076-1245 (携帯)
発行者: 菊池市議会議員 福島 英徳

市民の声を市政に活かす 一般質問

議員個人が、市政について疑問点をたずね提案し、改めたいこと・実現したいことに関する報告や説明を求め、市長や部長等が答弁します。答弁内容から、執行部が適切な市政運営を進めているかを議員がチェックするものです。

児童虐待防止に対する、本市の取組みについて

福島：虐待による子供の死傷事件は全国的に多発しており、本市においても通報や相談は年々増加しています。

社会に大きな衝撃を与えた、虐待による死亡事件！なぜ尊い命を救うことができなかったのでしょうか？

助かった命と助けられなかった命。この違いは何なのでしょう？私は地域コミュニティーの連携にあると思います。

そこで、本市における保育所・小学校・児童相談所・警察、市およびその他の関係機関との連携について具体的に説明をお願いします。

健康福祉部長：虐待の未然防止や早期発見のために、子育て支援課内に家庭児童相談室を設けている。また連携については関係各所で構成している、菊池市要保護児童対策および、DV防止対策地域協議会で情報の共有や支援内容を協議している。

福島：マレーシアでは学校を一週間連続で休む場合には、医療機関の診断書が必要で提出されなければ、児童相談所等が家庭を強制的に訪問調査できると、あるラジオ番組で放送されていました。本市においては、学校だと登校拒否等児童の意思で休む場合も考えられますが、保育所に関しては有効だと思います。現状保育所では児童が休んでいても調査する強制力はなく、保護者の言葉や判断に委ねるしかありません。

そこで、本市としては保育所を3日ないし5日程度連続で休む場合、医療機関の診断書提出を求めることは可能だと思います。本市として条例等定めることを提案したいのですが考えをお聞かせください。

これに関しては市長の考えをお示しください。



市長：万が一不幸にもそのような虐待の事案があった場合には、48時間以内を目途として迅速な対応ができるように努めていく。また関係法令等を遵守して、更なる虐待予防につとめ従事していく所存であり、特段条例制定は考えていない。

不審者発見時の本市の緊急対応策について

福島：不審者を見かけたときの連絡先はどのように周知されているのでしょうか？

総務部長：学校や保護者から警察へ通報されることが多く、状況を確認後警察より要請がある場合は菊池行政ナビや安心安全メールを活用して市民に周知している。

福島：是非周知の徹底をお願いします。もし不審者が出没した場合自身の身を守るために、いち早く駆け込める「子ども安心・安全の家」や「子ども110番の家」等の施設が必要だと思いますが、現在の状況をお示しください。

教育部長：子ども110番の家に関しては、過去にPTA・学校・警察・教育委員会が協力して実施している。ただし、旭志地区を除いてステッカー等の更新はされていないのが現状である。

福島：良い取り組みを始めても、周知の方法や定期的にステッカー等を更新しないと、明らかに形骸化していきます。改めて取り組むのか？取り組むのであれば、今後どのように機能させていくのか考えをお聞かせください。

教育部長：校区における子ども110番の家の児童や生徒への周知と、不審者遭遇時の合言葉として”イカのおすし”の徹底とすぐに逃げる意識を指導している。

また、子ども 110 番の家については更新等の確認ができていない状況にあるため、今後実態の確認を行うなど、対策について学校や PTA 等と協議していきたい。

運転事故による、加害・被害防止策について

福島：高齢者運転のアクセルとブレーキの踏み間違いによる痛ましい事故が相次いでいます。

高齢者への免許証自主返納を促すことも一案ですが、現状本市の交通インフラを考慮すると簡単に返納することは難しいと思います。病院や買い物、それよりも農作業に車を利用されている方にとって、便利カーが利用できるか？また乗り合いタクシーを利用できるか？疑問です。

そこで、最近では安全運転をサポートするための装備を取り付ける場合に、市としては補助する意思があるのかをお聞かせください。

総務部長：補助については、後付け安全運転支援装置の情報収集、販売業者への聞き取りや先進自治体の調査を行っている。国の閣僚会議の中でも安全運転支援装置の普及についても述べられているので、国の動向も注視しながら事故防止に努める。

福島：先ほどは運転者が加害者にならないための提案で、次は市として市民の被害を最小限に防ぐためにしておくべきであろうことをお聞きします。

今年の 5 月に滋賀県で保育園児 16 名が巻き込まれる死傷事故が起きました。

そこで本市内の通学路や保育園児の散歩コースにおいても危険な箇所があると思いますが、そのような箇所を調査はされているのでしょうか？本市においても歩行者を巻き込む事故がいつ起きるかわかりません。いや、起きることを前提にしておくべきでしょう。私は市として積極的に学校や保育所等の関係各所に依頼して、危険と思われる場所、せめて交差点では歩行者を防護できる金属製柵の設置が急務だと思いますが、考えをお示しください。

総務部長：通学路は学校関係者と校区単位で現地調査を実施、未就学児の散歩コースは子育て支援課が依頼して 8 月に取りまとめた。金属製の柵については、関係機関と協議を図りながらスピーディに対応したい。

七城地区の地下水汚染問題について

福島：地下水汚染防止施策の進捗状況についてお尋ねします。何よりも地下水の汚染防止を根本的实施するのが最優先と考える中で、昨年 12 月の松岡議員の質問に対して、「平成 28 年 8 月から行われている熊本大学との共同研究で、七城地区全 38 行政地区の代表井戸の水質調査は定時検査をしており、これまでは全て基準値を下回っている」と答弁されていますが、平成 28 年から 3 年間で何回調査が行われ、硝酸態窒素および亜硝酸態窒素の数値がどのようになっているのかをお聞かせください。

市民環境部長：38 地区の中で、硝酸態窒素濃度の基準値 (10mg/l) を超過、または変化が大きい 12 地区に対しては月に 2 回採水し、平成 30 年度末に 64 回検査を実施している。基準値以下のところは、7 地区で月に 1 回採水し 32 回の検査。5 地区で年に 4 回採水し 11 回の検査。14 地区で年に 1 回採水し 3 回の検査を行っている。

福島：そもそも地下水の汚染原因として家畜排せつ物が要因とされていますが、これまで違法ではなく合法的に処理されていたわけですよね。そうであれば、今抱えている問題を酪農・畜産・養豚農家に押し付けるのではなく、原因はわかっているはずですから市も協力して根本的な対策を講じるべきではありませんか？

平成 26 年に松岡議員から質問された際、バイオマスの利活用を検討していくと、当時の市民環境部長が答弁されています。その後 5 年が経過しました。バイオマスに関してはどのような調査等が行われたのか？またバイオマスに替わる家畜排せつ物の有効活用を考えられているのであればお示しください。

市民環境部長：家畜排せつ物の過剰散布による地下水への影響も考えられることから、家畜排せつ物を用いたエネルギー展開システム等の導入について調査を継続している。昨年度は乳用牛スラリー（ふん尿は水分が多くトロトロの状態）を原料としたバイオマス発電について、個別農家型モデルと集中型モデルの 2 つの案をもとに、第三者からみた事業採算性および民間事業者の参入可能性を検証してきた。その検証結果をもとに事業可能性の検討を行っている。



令和元年 9月定例会 市議会でのあれこれ

歳入財源増にむけて取り組む

姿勢に熱意が感じられない!!

令和元年第2回菊池市議会定例会は、8月28日から9月27日まで31日間開催されました。

今回の補正予算では、3億3,562万円が追加され、一般会計予算の総額は293億円になりました。その内の主なものとしては、6月~7月の豪雨による災害復旧費としての5,000万円です。

予算決算常任委員会（平成30年度分）に付託された議案内容において、総務文教委員会の議案の中で、「ふるさと納税」について、執行部は非常に魅力的な歳入財源だと答弁しているにもかかわらず、当初予算に対して減額が半分ぐらいになっており、取り組み内容の改善の必要性を感じました。

また、経済建設委員会に対しては、「インターネットショップ」について、執行部より年間1億円の売り上げを目標にしているとの答弁をされているが、その目標金額の根拠は何か？更に達成率は70%にとどまり委託料等の経費を差し引くと、1,200万円の赤字になっている。

歳入源のはずなのに歳入減となっているため、売上増への具体的な議論があったのかを問いましたが、委員長からは売上目標額の根拠も、売上増への具体的な答弁や議論はなかったと、残念な回答でした。

同じく経済建設委員会の所管の中で、昨年9月9日（日）にKABテレビで放送された、前川清のタビ好きには、360万円の費用を菊池市が負担していたことが報告されました。

メディアを活用した菊池市のアピールには大賛成ですが、何となくやりっぱなし感が漂います。

単純に数字での判断は難しいと思いますが、必ず費用に対する効果はチェックしなければならないと私は考えます。



椅子問題に新たな疑惑？！

くすぶり続けている菊池市中央図書館の椅子問題に対して、荒木崇之議員の一般質問では、空輸したことを証明するためにインボイス（貿易用語で送り状を意味する）の提示要求がありました。

二転三転する執行部の答弁でしたが、最終的にはマジス社（イタリア）の日本法人であるマジスジャパンが保管しているとのことでしたので、保管しているインボイスを取り寄せることになりました。要求から開示されるまで丸一か月が経過し、更にFAXでの送付でした。そのコピーを確認しましたが、開示されたインボイスが中央図書館に納入された物品であることを証明するには、必要箇所が消されており不可能で、空輸費の464,000円を支払った証拠となる書類とは言えません。

また添付されていた輸入許可通知書とインボイスは照合しようにも、金額どころか、インボイス番号や、航空貨物運送状（Air Waybill）番号等、重要なところが修正液等で消されており、到底照合できるレベルではありませんでした。情報公開において見せたくない内容は、せめてのり弁資料（黒塗り）で提示されるのがあるべき姿ではないかとも思います。

最終日（9月27日）の総務文教委員会では、空輸したことを証明する資料提示を委員から要求されているにもかかわらず、執行部からはかみ合わない答弁のみで継続審議となりました。

執行部の態度や答弁には、税金を使って支払っているといった感覚が欠如してしまっているように映ります。

スッキリしない辞職勧告

ご存知の方も多いと思いますが、議会最終日に、二ノ文議員に対して辞職勧告決議案が提出され可決しました。

もちろん議員として暴力や暴言はあってはならないと思います。しかしながら切り取られた言葉の前後には別の背景があり、発言直後に謝罪をされています。

何よりも釈然としないのは、何故か議長室での話合いの内容が外部に漏れ、差出人不明の怪文書が出回ったことです。また全員協議会での秘密会の内容がどうして新聞報道されたのか？議会のガバナンスに問題がありそうです。



市政

菊池市政に民間企業での経験を！

意思決定・政策のチェックの場に

培った視点を活かします

活動通信

令和元年 12月議会 vol.6
Kikuchi city council member Report

福島ひでのり

あけましておめでとうございます。

子年は新しい運気の始まりであり、
種子が膨らみ始めるとのことからも、
未来への大いなる可能性を感じます。

また“ねずみ”には「ネズミ算」といっ
た言葉があるように、子孫繁栄の象徴
でもあります。

株式市場にも「子年繁栄」といった
格言があり、株価が上昇する傾向にも
あるようです。56年ぶりに東京で開
催される、オリンピック・パラリンピッ
ク2020による経済効果を考えると、
この格言もあながち間違いではなさそ
うで期待してしまいます。

みなさま、今年も一年健康にはチュウ
いされて、福島ひでのりのことも、も
よろしく願いいたしマウス！

Profile

- 1961年 7月 菊池市七城町高田生まれ（58歳）
- 1979年 3月 七城小学校・中学校を経て、
鹿本高校卒業
- 1986年 4月 日本電子材料株式会社入社
- 2009年 10月 慶応義塾大学経済学部入学
- 2012年 4月 日本電子材料株式会社韓国法人
（同和 JEM）代表理事副社長
- 2018年 3月 日本電子材料株式会社退社
- 2018年 5月 菊池市議会一般選挙に出馬し、
初当選（1期目）



連絡先

〒861-1357 熊本県菊池市七城町高田 640-1

TEL：090-5288-2466（携帯）

発行者：菊池市議会議員 福島 英徳

市民の声を市政に活かす 一般質問

議員個人が、市政について疑問点をたずね提案し、改めたいこと・実現したいことに関する報告や説明を求め、市長や部長等が答弁します。答弁内容から、執行部が適切な市政運営を進めているかを議員がチェックするものです。

七城ふるさとコスモス祭りの ありかたについて

福島：今年の七城総合グラウンドのイベント会場で行われたイベントは盛況で嬉しく思います。また、ウォークラリーの参加者も昨年の660人から850人と、200人も増加したと聞いています。

参加者の増加により、今年のふるさとコスモス祭りは成功だったように感じます。それには祭りを盛り上げるために様々な取り組みを行われてきたと思います。これまでにどのような取り組みがなされてきたのでしょうか？併せて、今後更に取り組みされる内容を含めた方向性をお聞かせください。

経済部長：平成30年度からコスモスウォークラリーコースの途中に、特産品のメロンや七城米のおにぎりの試食コーナーを設置して参加者からの好評を得ていたこともあり、本年度もポスターやチラシに掲載して募集を募った。

9月上旬にはNHK福岡局のお昼の情報番組：はっけんTVでも紹介され申し込みも増えた。今後は実行委員とも話し合いながら来場者増をめざす。

福島：次は残念に感じたことを述べます。冠でもあるコスモスの状態が悪かったことです。

私も河川敷を見て回りましたが、昨年よりも更にひどかったように映りました。近隣および、遠くは玉名の介護施設から見に来られた方々からも残念な声を多く聞きました。

何故このような結果になったとお考えでしょうか？

建設部長：現在、コスモスの耕うん・種まきは河川除草作業員が行っているが、河川の除草と種まきの時期が重なり、人手不足で種まきの時期がずれた。

種まき後のコスモスの草取りはシルバー人材に依頼しているが、以前に比べ市として人員確保ができなかった。コスモスの咲き方については、土壌の問題・種まきの時期・草取り不足等、特定はできないが、こ

のようなことが、要因であろうと思われる。

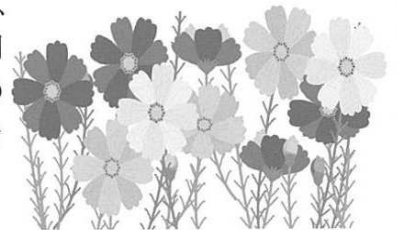
福島：合併前には、七城町に堤防の管理費として国土交通省から年間2,000万円程度の委託金がありました。その委託金を上手に活用して、毎年見事なコスモスを咲かせていたわけです。その委託金は現在も継続していると思いますが、年間幾ら交付されて、どのように使用されているのかをお聞かせください。

建設部長：国から河川の美化作業として委託金をもらっている。平成28年度と平成29年度は1,670万円。平成30年度は1,717万円で、主に作業員の賃金・消耗品・修繕費・保険料・コスモスの種まき、そして機械の買上げや、3年に1度程度大きな機械の購入費に充てている。

福島：国土交通省から受け取っている委託金は合併前とさほど変わっていないと聞いていますが、コスモスの質は明らかに落ちています。なぜ同じ予算があるにもかかわらず当時と同じレベルの質が保てないのでしょうか？委託金を余らせることなく有効に使うことで、みんなが楽しみにしているコスモスの質を上げることはできると思います。

私は、合併前に咲き誇っていたコスモスを復活させるリソースは十分にあると思います。春先の桜と同様に、秋には秋桜と書くコスモスも名物にしたい考えが私にはありますが、

これまでの答弁や質問を聞かれて市長にはその考えがあるのかをお聞きします。



市長：コスモス祭りに関しては毎年お客さんが増えているが、今年は特によかった。

この祭りを七城、そしてそれを菊池の売上につなげたいし、だんだん名物になりつつあるのではないかと思う。

各種委託料について

福島：ここ数年いろんな分野で外部委託が増えていると感じます。時代の流れもあり民間企業でも人件費削減等により、アウトソーシング要するに外部委託が増えていました。しかし最近では情報の流出や質の向上からも、外部委託は減らす方向にあるようです。

本庁でも外部委託が増えているようですが、外部委託の実態をお聞きします。

最初にソフトウェアを含めた電算システム改修費に関して、過去3年間の推移をお示してください。

総務部長：ソフトウェアを搭載した保守・管理・改修等に係る委託料については、平成28年度は7,685万円。そのうち法改正等により必要となった委託料が725万円。平成29年度は1億994万円。うち法改正に係る委託料が1,300万円。平成30年度は1億561万円。うち法改正に係る委託料が1,226万円です。

福島：法改正等によるシステム改修に係る委託料は10%程度ということですね。システム改修も含めてこれらを外部に委託される場合は、知識を持った職員によって見積もりの妥当性等の検証はされているのでしょうか？

政策企画部長：システム改修については、昨年末に情報システムガイドライン（素案）を作成し、それに基づいて政策企画部で事前審査しているが、疑義があればIC推進アドバイザーにも相談して適正な内容かどうかを精査してる。

福島：業者に丸投げではなさそうですので安心しましたが、更にブラッシュアップして無駄な支出がないようにお願いします。

次に2年ほど前から、コンビニで住民票等各種交付が可能になりましたので、過去2年間の交付件数と歳出経費を調べました。平成29年度は交付数370件で、経費が約370万円です。1件当たり1万円。平成30年度は交付数561件で経費が約470万円です。ただし、システム改修費に100万円がかかっていますので、実質約370万円です。1件当たり約6,600円。

平成30年度のシステム改修は継続するものか一過性のものなのかお聞かせください。

市民環境部長：今回のシステム改修は、旧姓併記によるもので頻繁には発生しないと聞いている。

福島：コンビニ交付に係る年間の固定費が370万円です。一定だとすれば、交付数が増えれば1件当たりの経費も下がるということになります。

更に年末年始を除き土日も含め朝6時30分から夜は11時まで、全国各地で交付が可能とのことですので利便性は上がり、本庁や支所での窓口業務も軽減できると思います。

ただし、コンビニでの交付にはマイナンバーカードが必要だと聞いています。本市における現在の保有率は10.10%とのことですので、今後コンビニでの交付数を増やすためにはマイナンバーカードの普及率を上げることが前提になりそうです。

先般の一般質問で答弁されたように、申請窓口を増やす等の取り組みは必要でしょうが、市民の方々がマイナンバーカードを保有するメリットを感じなければ、そう簡単には普及率は上がらないと思います。

そこで提案ですが、例えば住民票を本庁や支所で交付する場合300円ですが、コンビニ交付だと200円になるとすれば市民の方はメリットを感じられると思います。

便利でかつ安いのであれば普及も進むのではないのでしょうか。それによって本庁や支所での窓口業務も減り、その人材を他に充てられるといった相乗効果も出るとは思いますが、考えをお聞かせください。

市民環境部長：導入当初はコンビニ交付が少なかったため単価が高かったが、増えてくれば窓口での交付件数が減るし、対応等にも効果が上がってくると考える。コンビニ交付には、言われたようにマイナンバーカードが必要で推進に向けた体制をつくっているが、提案されたコンビニ交付の手数料を下げる等の事例については先進事例を研修して導入が可能かどうか検討していく。





令和元年 12月定例会 市議会でのあれこれ

令和元年第3回菊池市議会定例会は、11月29日から12月20日まで22日間開催されました。

今回の補正予算では、2億497万円が追加され、一般会計予算の総額は295億円になりました。

東京2020オリンピック・パラリンピック事業として1,339万9,000円が計上されました。

これは今年5月7日に実施される聖火リレーに係る経費とのことですが、費用の大半は暴挙等に対する警備関連で、現時点では最大級の警備体制を見積もっているが今後の協議の中で簡素化できる場所は減らしていくとの説明がありました。

有害鳥獣被害の陳情に対して、現状と対策について執行部から説明があったものの、通り一遍の説明で実効性は低そうに感じました。まずは有害鳥獣の頭数を減らすことではないでしょうか。

ある一定数（予算内）の捕獲頭数に達するとそれ以降は報奨金が出ないことに対して、予算を超えると報奨金を出さない??このような身近な問題にこそ補正を組んでも報奨金出すべきだとの質疑が委員からでした。

また、捕獲した後どうしていいかわからない。といった趣旨の陳情内容であるにもかかわらず、「総合的に検討する」や「前向きに検討する」といった、具体性に乏しい答弁でした。

母子保健情報連携システム改修委託料、131万6,000円の補正内容を質疑したところ、乳幼児健康診査や妊婦健康診査等の情報において、マイナンバー制度を活用し、マイナーポータルで市町村間の連携を開始するものであり、これは転居等をした場合に予防接種や検診履歴を、必要に応じて本人に聞き取りをしたり、文書等で問い合わせしていたことが、連携システムの活用で、市町村間での情報のやり取りができるとのことでした。

***マイナーポータル**☞政府が運営するオンラインサービスです。子育てや介護をはじめとする行政手続がワンストップでできたり、行政機関からのお知らせを確認できたりします。
*マイナーポータルを利用するには、利用者証明用電子証明書を搭載したマイナンバーカードが必要です。

計画（目標とは）何？

平成30年度の「癒しの里きくち創生総合戦略効果検証」が、昨年9月議会最終日に報告されました。

本年度（令和2年3月）が5か年計画の最終年度になります。そこで検証内容を私なりに改めて検証したところ、目標設定根拠の稚拙（ちせつ）さや、各年度の結果に対する要因分析の杜撰（ずさん）さが目につきました。

当初計画（目標）の達成に向けた取り組みは大事だと思いますが、目標値から大きく上振れや下振れした場合には見直しを行う必要性を感じます。

また計画に対する考えが、「計画なんて作文に過ぎない」とか、「外向けに外部の者に説明するためにとりあえず作っておく」といった意識であれば、それは無計画にすぎません。このようにロジカル（論理的）に作られていない計画に固執すると失敗を招く恐れもあります。

このような状況から、今後もこういった乱暴なやり方を踏襲するのか、それとも状況に応じ柔軟に緻密な仕事をしていく考えがあるのかを市長に尋ねましたが、当面は今のやり方を続け、精度を上げるとの答弁でしたので、現状の“やっつけの仕事”でも精度が上がるとお考えなのでしょう。

私は現状のやり方では納得できませんので、税金をいかに有効活用しているのかを、これからもしっかりとチェックしてまいります。

中央図書館椅子問題、 またもや否決！



中央図書館の椅子問題に関して、荒木議員から4度目となる100条委員会設置提案が行われ、賛成者として賛成討論を行いました。

①総務文教常任委員会で十分に議論された結論なので問題なしと発言された反対議員もいますが、新たに出る疑惑に対して委員長に質疑しても、委員会では審議していない等、税金を投入して行われた疑義に対して納得できる回答は得られていません。

②多くの市民の方々からも税金の使い方に対する疑義を問われているにもかかわらず、議員の大多数が反対しているのは、何か思惑があつてのことでしょうか。

市民との感覚がかけ離れていることに違和感を覚えます。

今回も賛成5反対14の賛成少数で、否決となりましたが、良識ある賛成議員が1名増えました。